

令和5年度学校評価シート（学校関係者評価）

かぴら幼稚園

学校関係者評価委員会

日時 令和5年3月1日ほか

公開保育の後、学校評価を実施

10:00～12:00（時間）

出席者 評価委員（保護者）2人

評価委員（地域住民）2人

評価委員（他の施設の職員）1人

1、自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか。

目標や計画は、コロナ禍を経た時代にあった幼稚園をつくりあげていく観点からみて、園の努力が認められ、適切であったと思う。園の業務にてICT化を進めていくこともこれからの時代積極的にやっていくことが求められると思う。業務の効率化によって教職員の負担軽減に繋がっていくものであってほしい。保護者にとっては、利便性が高まることであるので、推し進めてもらいたい。コロナ禍であっても園児達の成長に繋がる行事や活動を工夫して行ってきたことは、有難く、そしてポストコロナとなった今、改めて内容を精査しながら、新しいやり方等も取り入れながら、行事や活動を行っていくことは良いことである。体力づくりは積み重ねが大事だと思うので、続けてほしい。

保育の質の向上は、いつにおいても課題として捉え、また取り組みを行っていくべきものだと思うので、設定として適切と考える、そして、実際に、常々、意識して保育を行ってもらいたい。

2、評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思われる。具体的に行われている事例が多く、そこは評価すべき点と思う。あわせて、今後とりくむべき点も把握されていると思った。

3、今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

安全管理については、大変重要な課題であり、継続して行っていく必要があり、設定は適切と思われる。設備に充実とともに、保育者一人一人の意識の向上も取り組んでいってもらいたい。

かぴら幼稚園は、園児の成長のためにできることは何かを考えて保育に取り組まれている園であり、ぜひ多くの親子の方々に園のことを知っていただきたいと思う。大変だと思うが、子育て支援の観点をもってそれらの活動を実施することがこれからますます求められていくと思われる。保育の質の向上にも努めていってもらいたい。

4、公開保育に参加して

園児達が明るく、イキイキと園で過ごしている様子がみることができ、良かった。コロナ禍以前の生活が戻ってくることは喜ばしい限りである。教職員の方々は、大変なことも多いと思うが、これからも、子ども達のためにご尽力をお願いしたい。